

平成 31 (2019) 年度 学校経営方針

大分大学教育学部附属小学校長 時松哲也

1. 附属小学校の使命

(1) 地域教育への貢献

地域の先進的・先導的なモデル校として、大分県教育委員会と連携して実践し、情報を発信する。

(2) 教育実習生等への指導

地域の教育課題を踏まえた教育実習を計画し、直接その指導に当たる。

(3) 大学への協力

教職大学院及び学部教員と協力し、教育理論と実践の往還を通じた実証的な研究を行う。

2. 学校教育目標

「未来へ向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、自己を磨き高め合う子どもの育成」

3. 重点方針

「グローバル社会を生き抜くグローバルリーダーの育成」

4. 重点目標(安心・活力・発展)

(1) 子どもの力と意欲の向上に向けた組織的な取組の具現化

- ①全職員とすべての子どもたちとで手に入れる安全・安心な学校の確保
- ②指導教諭を中心にした授業改善(付けたい力を意識した密度の濃い授業の実現)
- ③主幹教諭を中心とした主任制度の充実
- ④働き方改革による自己研鑽への希求と感性の琢磨

(2) 地域や国を担う人づくりと活力ある地域づくりの具現化

- ①英語力の向上
- ②思考力・判断力・表現力の育成

5. 重点的取組

(1) 学びに向かう力の育成とすべての教育活動を下支えする、安全・安心な学校の実現

- ①安心な生活を自ら手に入れるための自己規制力の育成と徹底した生活指導の実践
- ②予防的・積極的生徒指導の強化

(2) 持続的・発展的な授業改善

- ①指導教諭・学年主任等の授業観察や日常的な授業公開を通じた着実な授業力の向上（切磋琢磨）
- ②新大分スタンダードを具現化した授業観察シートの活用、並びに大学と連携した県教育課程研への取組と地域や教育実習への還流
- ③自学自習ができる自律的学習集団への育成

(3) 使命や要請に応えることのできる自律的学校組織の構築

- ①主幹教諭を中心とした主任制度や組織的な対応の充実
- ②連相の徹底
- ③危機管理能力の強化
- ④接遇マナーアップ

(4) 量的な価値から質的な価値の追求へ意識転換

- ①優先順位等を意識した業務を行い、更なる効率化や重点化に取り組む。
- ②自己研鑽に充てる時間や機会をつくり出し、一人ひとりの豊かな感性を授業構想に反映させる。

(5) 活力あふれる生活を生み出すための外国語活動の充実と地域への還流

(6) 地域と繋がる総合的な学習の時間を核に、思考力・判断力・表現力を鍛えるカリキュラムの開発・実践・発信